

2019年5月2日

課題名：骨 SPECT における SPECT 装置一体型でない CT を利用した定量精度の検証

◆研究の目的と概要◆

当院では、骨シンチグラフィの検査について外部 CT を利用した SPECT 画像の定量精度を調べることによって放射線被ばくの低減と診断精度の向上を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2014年4月から、2018年12月までの間に、骨シンチグラフィの検査を受けられた方。

◆研究に使用される情報・試料◆

性別、生年月(or 年齢)、人種、身長、体重、既往歴、現病歴、前治療、検査画像の情報(SUVmax など)

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
放射線技術部 研究責任者 川上 雄司

E-mail : kenkyu★kchnet.or.jp

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明